

平成30年度

第64回 全日本中学校通信陸上競技
神奈川県大会

兼 国民体育大会神奈川県予選会 大会要

1. 主 旨 各都道府県ごとに陸上競技大会を行い、その成績を日本陸連に集め、各種目ごとに全国順位をつける通信競技大会として、陸上競技の正しい普及と発展のために、この大会を通じて、中学生の精神的・身体的な正しい訓練を助成するものである。
2. 主 催 日本陸上競技連盟 日本中学校体育連盟
神奈川県陸上競技協会 神奈川県教育委員会
神奈川県中学校体育連盟
3. 主 管 神奈川県中学校体育連盟陸上競技専門部
4. 後 援 日本放送協会横浜支局 朝日新聞社 神奈川新聞社
5. 期 日 平成30年7月22日(日) 8:45開会式 9:15競技開始
平成30年7月24日(火) 9:00競技開始
予備日 7月25日(水)
6. 会 場 Shonan BMW スタジアム平塚 平塚市大原1の1 TEL 0463-33-4455
7. 種 目
<男子18種目>
学年種目 1年100m(11.20) 2年100m(11.20)
3年100m(11.20) 1年1500m(4:08.50) 1年走幅跳(6m55)
共通種目 200m(22.75) 400m(51.60) 800m(2:00.50)
1500m(4:08.50) 3000m(8:57.00) 110mH(15.00)
4×100m(県1チーム)
走高跳(1m85) 棒高跳(4m00) 走幅跳(6m55) 砲丸投(13m00)
四種競技(110mH・砲丸投・走高跳・400m)(2500点)
県独自種目 1年4×100m
- <女子15種目>
学年種目 1年100m(12.53) 2年100m(12.53)
3年100m(12.53) 1年800m(2:16.50) 1年走幅跳(5m45)
共通種目 200m(25.80) 800m(2:16.50)
1500m(4:38.00) 100mH(14.80)
4×100m(県1チーム)
走高跳(1m60) 走幅跳(5m45) 砲丸投(12m50)
四種競技(100mH・走高跳・砲丸投・200m)(2630点)
県独自種目 1年4×100m
- ※ ()内は、全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録
8. 大会規則 2018年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規約に準じて行う。

9. 参加資格 (1) 2018年度日本陸上競技連盟登録者であること。
 (2) 神奈川県中学校体育連盟に加盟の中学校に在籍し、学校長が参加を認めた者。
 (注) ①大会参加承諾書(専門部保管)
 ②保護者の大会出場承諾書(学校保管)

※参加資格の特例

学校教育法134条の学校に在学し、神奈川県中学校体育連盟が参加を認め、当該学校長の承認を受け地区・ブロック大会を経て参加の資格を得た生徒であること。

- (3) 顧問が引率および役員として参加できる学校の生徒。

10. 参加制限 (1) 通信陸上地区予選を通過した者。各地区割り当ては下記による。

種目	地区	横浜地区	川崎地区	湘南地区	県央地区	西地区
参加人数		15名	8名	10名	9名	8名
四種競技		12名	6名	8名	8名	6名
リレー		12チーム	8チーム	8チーム	8チーム	8チーム

- (2) 1人2種目以内とする(但しリレーは除く。)
 (3) 学年種目は当該学年に限る。
 (4) 上記の参加人数の他に、全国大会標準記録突破可能の生徒、及び、各地区で推薦された生徒に限り、地区で確認された後、県専門部会の中で承認、決定されれば出場できる。
 (県中学選手権の8位入賞者が、地区大会で県大会出場枠内の順位に入ったときに限り、その人数分の出場枠の参加が認められ、出場できる。但し、大会運営に支障をきたさないことが条件となる。)

11. 表彰 各種目8位までに賞状を授与し、優勝者には陸連からのバッジを授与する。

12. 参加費 1人1種目 500円 リレー1チーム 1000円

13. 参加申込 ①学校別参加申込書2部(職印・申し込み責任者印を押印したものとそのコピー)
 ②エクセルに入力したデータ(2018年度日本陸連登録番号を入力のこと)
 ③大会参加費

①～③を、6月19日(火)必着で、20地区部長(もしくは担当者)まで提出。

※各地区専門部長は、上記のものをまとめてプロ編に持参してください。

14. プロ編成 (1) 日時 平成30年6月26日(火) 11時
 (2) 会場 横浜市立大綱中学校 TEL 045-542-4422

※各地区専門部長は、参加申込書等を持参し、時間厳守で出席してください。

15. その他 (1) ナンバーカードは、県指定の学校番号を使用すること。大きさは、B5版とし数字の高さ12cm以上、幅5cm以上で太く書き、飾り文字は使わないこと。男子は黒字。女子は赤字とする。
 (2) トラック競技のスタートは、1回目の不正スタートで失格とする。四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。
 (3) 運営上、計測ライン及び高さを打ち合わせで決定する。
 (4) 本大会における参加者の傷害等は、「独立行政法人 日本スポーツ振興センター法」の適用となる。
 (5) 主催者の責によらない事由(悪天候・警報・事件等)で大会が中止になった場合、参加費の返金は行わない。